

株式会社フューチャー・デザイン・ラボ PRESS RELEASE

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー本館 6F TEL 03(5549)7581

外国人留学生の就職活動に関する意識調査 株式会社フューチャー・デザイン・ラボ 2012 年度調査

企業活動のグローバル化が進んでいるなか、大手企業はもちろん中小ベンチャー企業の外国人雇用ニーズも、近年大きく高まっています。同時に、日本における 2011 年度の専門学校、大学、大学院の外国人留学生の数は 13 万 8075 人と、10 年前(2001 年)の約 7 万 8812 人(日本学生支援機構調べ)に比べて倍増しているなか、留学生の日本企業への就職に対するニーズも高まっています。一方で、留学生雇用における企業側の知識・ノウハウの不足や、留学生に就職情報が十分に提供しきれていないなど、課題もあります。そこで、株式会社フューチャー・デザイン・ラボ(本社:東京都港区、代表取締役社長:竹原啓二)は、外国人留学生の就職活動における意識や実態を把握するため、日本の大学に在学中の外国人留学生を対象にアンケート調査を行いました。

その結果、約 4 割の外国人留学生が、日本企業で就職した後、5 年以上の長期にわたって仕事に従事したいと考えており、短期的にジョブホッピングを繰り返す従来のイメージとは変化が起きていることがわかりました。

また、企業を選ぶ最も重要な基準としては企業の「将来性」を選択していることや、約 4 割の学生が将来的には起業を志していることなど、積極性の高い意識を持っていることが判明しました。

具体的には、以下の調査結果となりました。

【調査概要】

対象: 全国の大学、大学院に在学中の外国人留学生

調査方法: インターネット及びアンケート用紙による

期間: 2012 年 1 月 9 日～3 月 31 日

回答数: 366 人(文系 296 人、理系 70 人)

結果概要

1. 外国人留学生の就職活動における意識について

- 1 5~10 年以上の中・長期にわたる日本勤務を希望する留学生が 39.9%と高い。
- 2 就職先企業を選ぶ際に重要視する項目では、「将来性」が 1 位。
一方で、「知名度」や「企業規模が大きいこと」は 10 位以下。
- 3 将来的に起業を目指す留学生の比率が 36.8%と高い。

2. 外国人留学生が就職を希望する業界について

人気第一位は電気機器メーカー、二位は情報通信、三位は小売業だった。

▼報道関係者お問い合わせ

担当 後藤洋平 Tel 03(5549)7581 Mail goto@futuredesignlab.jp

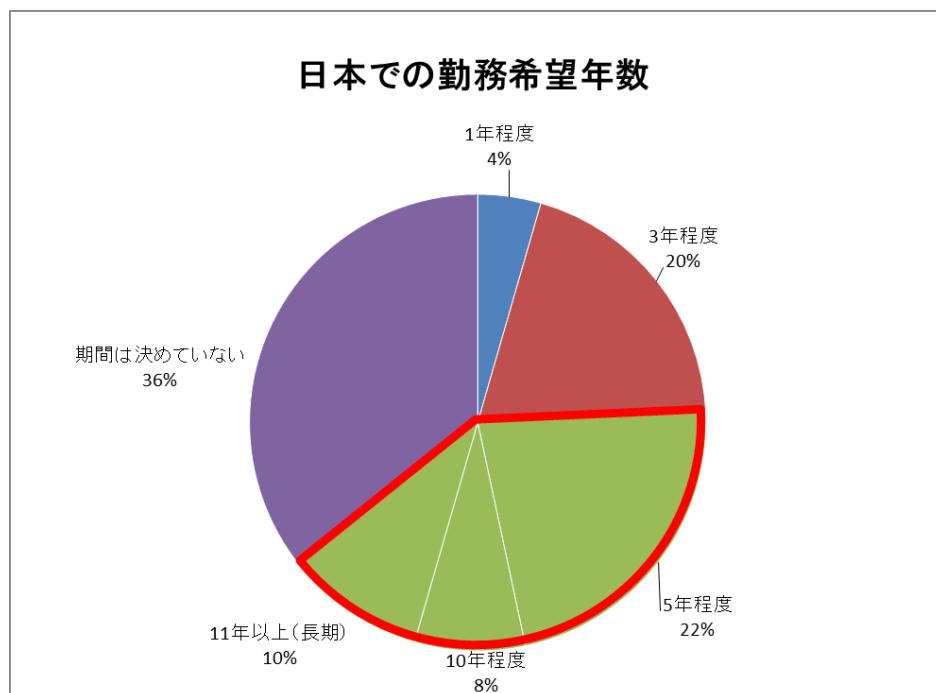
▼株式会社フューチャー・デザイン・ラボ 事業内容

経営コンサルティング 新規事業開発コンサルティング 留学生就職支援事業 他

1-1 約4割の留学生在が5~10年以上の中・長期にわたる日本勤務を希望

日本企業への就職を希望する外国人留学生の、勤務希望年数を聞いたところ、5年程度、10年程度、11年以上（長期）と回答した学生が合計39.9%にのびりました。

一般的に、高い離職率が留学生採用におけるネックとなることが多いと言われていますが、この結果から日本企業に中長期間勤務しようとする留学生の比率が非常に高いことが分かります。



1年程度	4.5%
3年程度	19.8%
5年程度	22.3%
10年程度	7.8%
11年以上(長期)	9.8%
期間は決めていない	35.8%
総計	100.0%

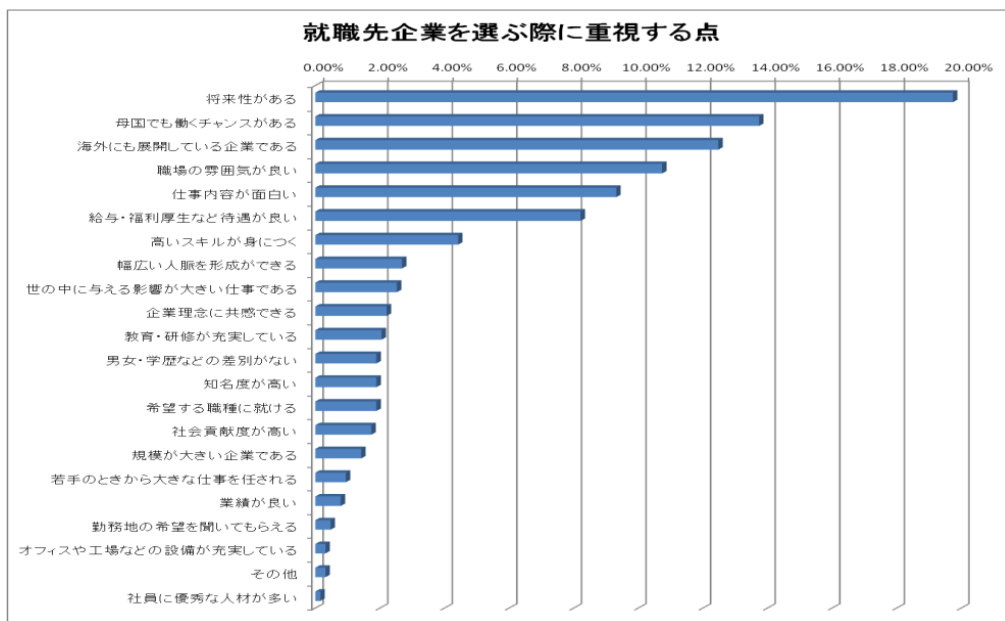
図表1：日本での勤務希望年

有効回答数 358、単回答式

1-2 就職先選択の際、最も重視するのは「将来性」

就職先企業を選ぶ重視する点で最も多かった回答は「将来性がある」ことで、約 20%の留学生がこの項目を選択しました。逆に「規模が大きい企業である」「知名度が高い」など企業の大きさや安定性に関する項目を選択したのは 2%以下、順位も 10 位以下に留まっており、日本人大学生の就職活動における大手志向や安定志向との対照的な性格が見て取れます。

将来性の次に重要視する項目として、外国人留学生が海外展開を非常に重要視していることも分かりました。昨今、海外へ留学する日本人学生の減少など内向き志向の日本人学生と対照的なスタンスが見られます。一方で、仕事の内容に関しては、「希望通りの職種につける」という回答が上位にランクインしておらず、彼らの仕事内容そのものに対する興味はそれほど強くないと考えられます。



図表 2：就職先企業を選ぶ際に重視する点

有効回答数 633、複数回答式

1-3 約 4 割の留学生が、将来的には起業を志向

卒業後は「日本企業で勤めた後母国に帰って起業したい」という回答が 24.3%、「起業に勤め学習した後に日本で起業したい」という回答が 12.3%を占めあわせて 36.6%の学生が起業を志向していることが分かりました。近年の日本人学生の安定志向とは対照的に、留学生のキャリアプランは積極的であると言えます。

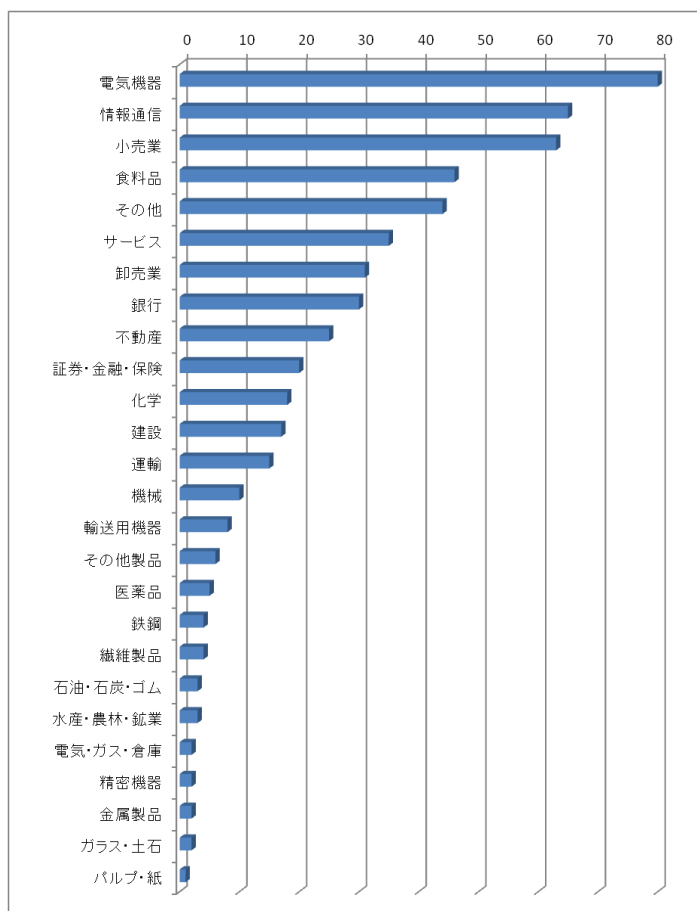
日本企業で勤めた後に母国に帰って起業したい	24.5%
1つの企業に長く勤めたい	23.9%
日本企業で勤めた後に母国に帰って就職したい	20.3%
企業に勤め学習した後に日本で起業したい	12.2%
1社にこだわらず転職することも考えている	11.0%
勤めた後に家庭へ入りたい	4.1%
その他	3.1%
特にない	0.4%
留学	0.2%
日本企業で勤めた後に他の国で働きたい	0.2%
進学	0.2%
総計	100.0%

図表 3：卒業後のキャリアプラン

有効回答数 518、複数回答式

2 外国人留学生在就職を希望する業界について

就職を希望する業界についてアンケートを行ったところ、一位は電気機器、二位は情報通信、三位は小売業という結果が得られました。



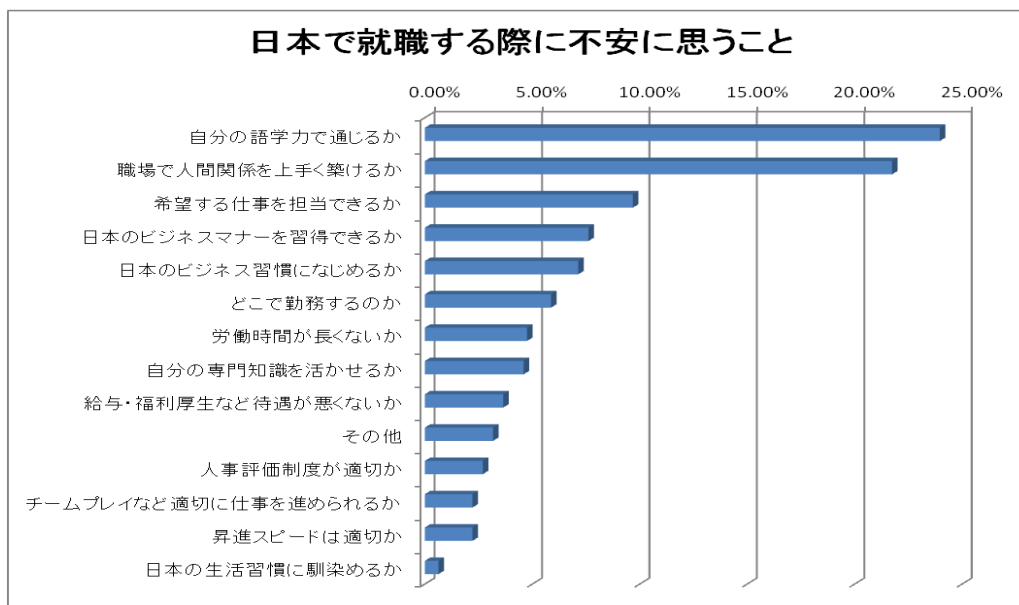
電気機器	80
情報通信	65
小売業	63
食料品	46
その他	44
サービス	35
卸売業	31
銀行	30
不動産	25
証券・金融・保険	20
化学	18
建設	17
運輸	15
機械	10
輸送用機器	8
その他製品	6
医薬品	5
鉄鋼	4
繊維製品	4
石油・石炭・ゴム	3
水産・農林・鉱業	3
電気・ガス・倉庫	2
精密機器	2
金属製品	2
ガラス・土石	2
パルプ・紙	1
合計	541

図表 4：就職を希望する業界

有効回答数 541、複数回答式

3-1 日本で就職する際の不安事項

最多回答が語学力に関する不安で、次が職場の人間関係への不安でした。こうした結果から留学生が職場でのコミュニケーションに不安を抱いていることが分かります。



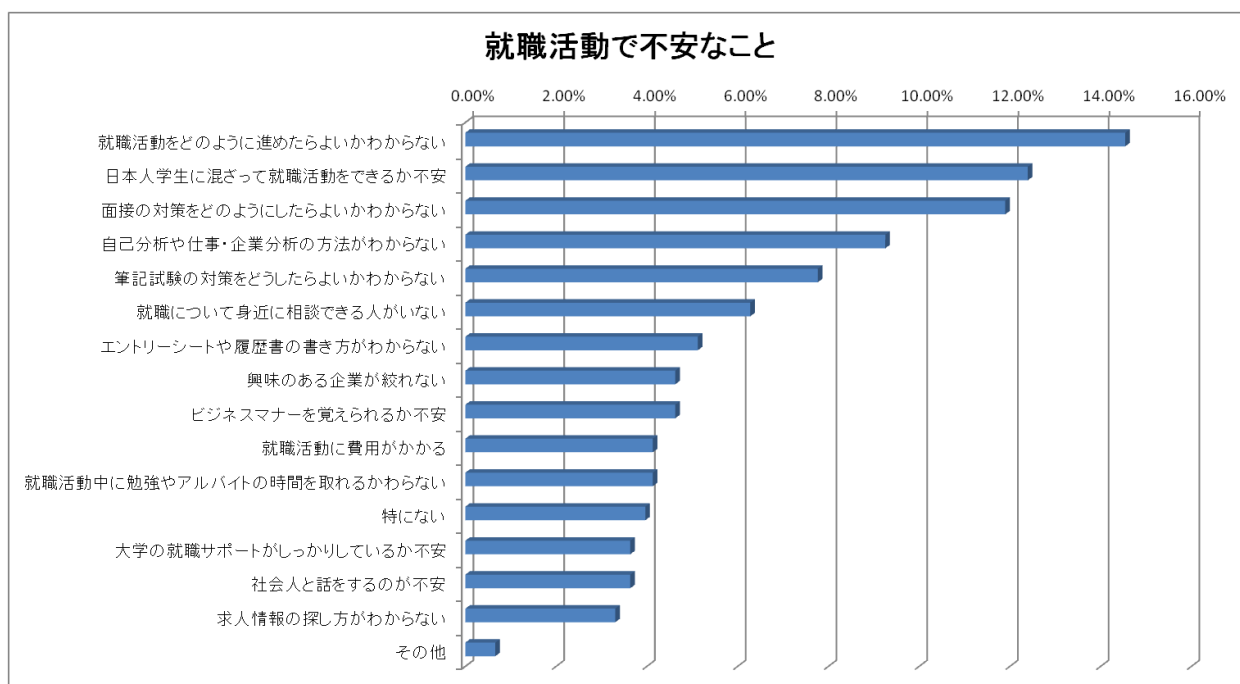
自分の語学力で通じるか	23.97%
職場で人間関係を上手く築けるか	21.75%
希望する仕事を担当できるか	9.68%
日本のビジネスマナーを習得できるか	7.62%
日本のビジネス習慣になじめるか	7.14%
どこで勤務するのか	5.87%
労働時間が長くないか	4.76%
自分の専門知識を活かせるか	4.60%
給与・福利厚生など待遇が悪くないか	3.65%
その他	3.17%
人事評価制度が適切か	2.70%
チームプレイなど適切に仕事を進められるか	2.22%
昇進スピードは適切か	2.22%
日本の生活習慣に馴染めるか	0.63%
総計	100.00%

図表 5：日本で就職する際に不安に思うこと

有効回答数 630、複数回答式

3-2 就職活動を行う上での不安について

就職活動を行う際の不安について質問したところ、「就職活動をどのように進めたらいいかわからない」という回答が最も多く寄せられました。日本独特の複雑な就職活動のシステムに留学生が不安を覚えていることが窺い知れます。



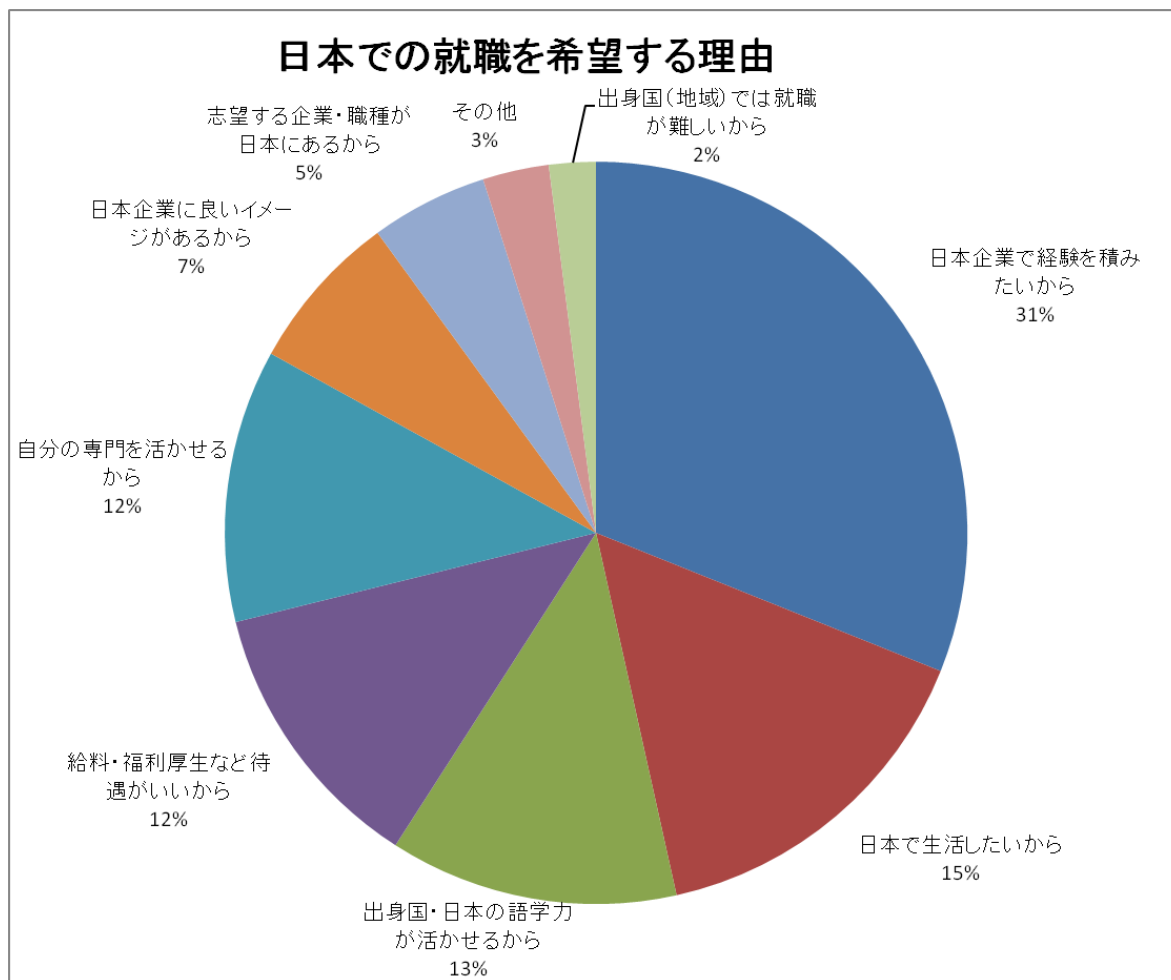
就職活動をどのように進めたらいいかわからない	14.55%
日本人学生に混ざって就職活動ができるか不安	12.40%
面接の対策をどのようにしたらいいかわからない	11.90%
自己分析や仕事・企業分析の方法がわからない	9.26%
筆記試験の対策をどうしたらいいかわからない	7.77%
就職について身近に相談できる人がいない	6.28%
エントリーシートや履歴書の書き方がわからない	5.12%
興味のある企業が絞れない	4.63%
ビジネスマナーを覚えられるか不安	4.63%
就職活動に費用がかかる	4.13%
就職活動中に勉強やアルバイトの時間を取れるかわからない	4.13%
特になし	3.97%
大学の就職サポートがしっかりしているか不安	3.64%
社会人と話をするのが不安	3.64%
求人情報の探し方がわからない	3.31%
その他	0.66%
総計	100.00%

図表 6：就職活動で不安なこと

有効回答数 605、複数回答式

3-3 日本で就職を希望する理由

日本で希望する理由として最多だったのは「日本企業で経験を積みたいから」という回答でした。



日本企業で経験を積みたいから	31.07%
日本で生活したいから	15.45%
出身国・日本の語学力が活かせるから	12.56%
給料・福利厚生など待遇がいいから	12.05%
自分の専門を活かせるから	11.88%
日本企業に良いイメージがあるから	6.96%
志望する企業・職種が日本にあるから	5.09%
その他	2.89%
出身国(地域)では就職が難しいから	2.04%
総計	100.00%

図表7：日本での就職を希望する理由

有効回答数 589、複数回答式

『外国人留学生の就職活動に関する意識調査』回答者内訳

性別および文理別：文系男子 156 人、文系女子 140 人、理系男子 48 人、理系女子 22 人

学位別：学部生 293 人、大学院 73 人

出身地域別：中国 228 人、ベトナム 32 人、韓国 24 人、インドネシア 22 人、ネパール 13 人、台湾 12 人、タイ 5 人、マレーシア 5 人、ミャンマー 2 人、パングラデシュ 2 人、モンゴル 1 人、その他のアジア 8 人、ヨーロッパ 4 人、アフリカ 2 人、オセアニア 1 人、その他 5 人